

## 2019長崎平和行動に

### 関西地本・関西地青として参加！

8月8日～9日の2日間にかけて、JR総連九州地協、JR西労九州地域本部、JR貨物労組九州地本、の主催で長崎平和行動が取り組まれました。関西地本からは津崎委員長、岩室青年部長、家城事務長の3名で参加しましたが今回が初めての参加となりました。

初日は「原爆資料館の見学」、「朝鮮人犠牲者慰霊碑での献花」、翌日の平和式典を控えた「平和公園の見学」を行い、最後に県立総合体育館で開催された「連合2019平和ナガサキ集会」に参加しました。集会の中で、「ナガサキ・ユース代表団」や「高校生平和大使」による、世界中の国々に向けた活動や平和に対する訴えを間近で聞き、被爆地長崎の若者の核廃絶や平和を守ろうとする想いの強さ、責任感に圧倒されるばかりでした。

2日目は原爆が投下された日という事もあって、投下時刻の11時2分に全員で黙祷を捧げ、犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。

行程の最後には関西地本の3名と九州地本の西原委員長と「岡まさはる平和資料館」を見学しました。ここでは戦争で受けた被害を紹介するのではなく、主に日本が近隣諸国に行った加害の実態を紹介していました。この2日間で、被害・加害の両面から核兵器の恐ろしさ、戦争の愚かさを体感し、平和を守り抜く取り組みを今やる事が非常に大切だという事を肌で感じました。

今後、関西地青としても今回の研修で得た経験を基に、より一層平和の取り組みを充実させていきます。



<原爆資料館の見学>



<朝鮮人犠牲者慰霊碑で献花>



<平和公園の見学>



<連合平和ナガサキ集会に参加>



<8/9 原爆投下時刻に全員で黙祷>



<岡まさはる平和資料館>